H30（　12山古志　）放課後子ども教室の活動報告

|  |  |
| --- | --- |
| 平成３０年度の○成果と●課題 | 平成３１年度へ向けた方策 |
| **１　子どもたちの育ちの状況**  ○人の話をよく聞いたり、言われなくても自分から状況判断をして対応できる場面が増えた。  ○自分の好きなことなら、集中してやり遂げている。  ○学年を進級するごとに少しずつ落ち着いてきている。  ○個性を主張できるようになってきた。  ●挨拶、大人に対する態度や言葉遣いがよくない。  ●子ども達の中で、自然と上下関係ができてしまい、少人数ゆえに関係性が固定してしまう。  ●周りに合わせて、自分から積極的に行動しない子が多い。 | ・礼儀やモラルの指導、他の子の気持ち・立場になって考えられる機会を設ける。  ・苦手なことにもチャレンジできるよう働きかけたり、外部との交流で活動の幅を広げる。 |
| **２　活動の内容・仕方・講師の声**  ○「参加したくない」と言われることもあるが、一緒にやり始めると、案外楽しそうに活動している。  ●山古志の場合、「やまっ子クラブ」は“児童館”でもあり、“児童クラブ”でもあり、“子ども教室”の会場でもある。子ども達は、気持ちの切り替えがしづらく、子ども教室の活動に意欲的に取り組もうとする子が少ない。  ●子ども達の興味と活動がマッチしていなかったり、スタッフの段取りが悪い時があった。 | ・無理に参加させるのではなく、どのように“参加してみよう”という気持ちにさせるか、という視点を大事にする。  ・子ども達の意見を反映させた活動や、スタッフ間の事前打ち合わせをしっかり行う。 |
| **３　関係機関との連携**  （１）地　域  ○地域の方から、得意なことを活かして講師になってもらったり、「やまっ子クラブ通信」を地域回覧し、活動の周知を図っている。  ●年間を通して協力いただける人材の確保が難しい。  （２）児童館・児童クラブ  ○「やまっ子クラブ」の時間内に行っているため、子ども達の状況をよく把握しているスタッフが常に一緒にいる。  ●「放課後子ども教室」とその他の時間の切り替えが難しい。  （３）学　校  ○定期的な会議の場で、活動の内容や子ども達の様子などの情報交換を行っている。  （４）その他の機関 | →継続  →継続 |
| **４　その他（参加募集や広報の仕方など工夫したこと）**  ○長期休暇は、近隣の他校にも参加募集を行っている。 | →継続 |

＊来年度に向けた方策がありましたら、書ける範囲で記述をお願いします。